

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和3年9月13日（月） 18:00～18:40 きらめきA
構成員	(委員長) 目片副院長 (委員) 内科診療部長、外科診療部長、石河産婦人科医長、 薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 (外部委員) リモート参加 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表 藤澤 浄光寺 住職 (オブザーバー) 院長 (事務局) 庶務班長
議 事 概 要	
<p>(1) 条件付承認について</p> <p>①3-08申請者：板倉悠紀（南3病棟助産師） 課題名：新型コロナウイルス感染対策による分娩立ち合い不可の現状の中で産婦に必要な支援の検討 概要：倫理委員会承認後から令和3年11月30日の間で、分娩立ち合い不可の状況で経膈分娩した褥婦にインタビューを実施し、産婦が求める支援を知り、助産師としての関わりについて示唆を得るもの。 審査判定：承認 (意見)・特になし</p> <p>②3-10申請者：瀬戸春香（南5病棟看護師） 課題名：地域包括ケア病棟における転倒の要因分析 概要：令和2年度に当院南5病棟に入院して、転倒インシデントの発生した患者のうち、複数回転倒している患者で、日常生活動作に於いて何らかの介助見守りが必要であった患者を対象にRCA分析を行い、根本原因を導き出し、得られた課題から転倒予防につながる取組みを実践していく事で転倒事例の減少を目指すもの。 審査判定：承認 (意見)・特になし</p> <p>③3-12申請者：木下瑞恵（南7病棟看護師） 課題名：コロナ禍での面会制限が患者の家族に与える影響 概要：当院南7病棟に入院中の患者家族にアンケート調査を実施し、面会制限によって家族がどのような不安を抱いているのか、その心理状態を明らかにし、患者家族への関わりを示唆するもの。 審査判定：承認 (意見)・特になし</p>	

④3-13申請者：小川桃可（東2病棟看護師）

課題名：一般病棟での認知症看護に対する看護師の抱えている感情の分析

概要：東2病棟勤務の看護師16名に認知症看護に対する思いについてインタビューを実施して、逐語録を作成し、内容をコード化する。コードの共通性を検討すると共に内容の類似性のカテゴリー化を行い分析するもの。

審査判定：承認

(意見)・特になし

⑤3-14申請者：伊野嵩矢（HCU看護師）

課題名：HCU患者のせん妄発症のリスク低減に向けた介入を行う看護師の思考分析

概要：HCU勤務の看護師にどのような思考を持ちせん妄発症のリスク低減に向けた介入を行っているかインタビューを実施して、逐語録を作成し、内容をコード化、カテゴリー化を行い分析するもの。

審査判定：承認

(意見)・特になし

(2) 申請課題（継続審議）について

⑤3-09申請者：田中麻美香（南4病棟看護師）

課題名：認知機能低下のある患者のナースコールを促す関わり

概要：75歳以上で移乗が一部解除・全介助に該当し、長谷川式認知症20点以下で文字認識が出来る患者を対象として、家族の文字を用いてナースコールを促す貼り紙をして、尿意を感じたタイミングでナースコールを押すことが出来るかを明らかにするもの。

審査判定：承認

(意見)・特になし

⑦3-11申請者：川瀬正裕（南6病棟看護師長）

課題名：新型コロナウイルス感染症患者の退院後の日常生活に及ぼす影響を調査し、退院支援に活かす

概要：新型コロナウイルス感染症として入院し、令和3年4月～8月末迄に退院した患者にアンケートを用いて、退院後の日常生活に及ぶ影響について調査し、その調査結果をパンフレット作成や退院支援につなげるもの。

審査判定：承認

(意見)・課題の開始時期については、倫理委員会の審査判定に対応して実施するように注意すること。

(3) 申請課題について

⑧3-17申請者：青木ゆかり（庶務係員）

課題名：「滋賀県地域医療再生計画（三次医療圏）脳卒中診療連携体制整備による本学（滋賀医科大学）への滋賀脳卒中データセンター設置及び脳卒中登録事業（滋賀県脳卒中对策推進事業等による脳卒中を含む循環器疾患登録研究）（承認30-22）

概要：急性期医療機関から回復期医療、介護施設や自宅へのスムーズな連携体制整備に向けて脳卒中を含む循環器疾患の診断や治療等、医療の質を評価することと県民および保健医療従事者等に研究成果を公表し脳卒中を含む循環器疾患の発

症予防に繋げる。

審査判定：承認

(意見)・特になし

(4) その他

次回開催日について

令和3年10月4日(月)受託研究審査委員会終了後

以 上